

◆医療事業

(1)患者数動態（期中 外来入院数）

施設	外 来 (人)			入 院 (人)			
	3年度	4年度	前年比	3年度	4年度	前年比	稼働率
星総合病院	172,319	171,946	99.8%	107,171	98,016	91.5%	62.5%
星ヶ丘病院	40,283	40,247	99.9%	79,494	76,316	96.0%	81.4%
三春病院	37,964	36,529	96.2%	20,913	19,995	95.6%	63.7%
たむら市民病院	23,291	22,778	97.7%	5,842	5,162	88.3%	44.2%
ほし横塚クリニック	12,019	13,454	111.9%	—	—	—	—
オリオン	3,388	3,282	96.8%	28,593	30,163	105.4%	82.6%
敬老園	—	—	—	28,381	28,176	99.3%	96.5%
星訪問看護	5,576	5,413	97.1%	—	—	—	—
星ヶ丘訪問看護	3,823	3,552	92.9%	—	—	—	—
三春訪問看護	3,850	4,088	106.2%	—	—	—	—
星訪問看護しずか	4,248	3,755	88.4%	—	—	—	—
星訪問看護たむら	—	785	—	—	—	—	—
合 計	306,761	305,829	99.7%	270,394	257,828	95.4%	71.7%

施設	紹 介 率 (%)			平均在院日数 (日)		
	3年度	4年度	前年比	3年度	4年度	前年比
星総合病院	69.8	72.4	103.7%	12.8	11.9	92.9%
星ヶ丘病院	53.9	40.5	75.1%	199.1	195.2	98.0%
三春病院	31.4	30.7	97.8%	30.4	31.2	102.6%
たむら市民病院	39.0	49.9	127.9%	21.9	19.7	89.9%
オリオン	—	—	—	115.8	108.7	93.8%

(2)救急医療活動

- ・ 星総合病院は郡山市第二次病院協議会の輪番制指定医療機関として救急告示病院の役割を担い、令和4年4月からは、脳神経外科が毎月第三・第四金曜日と隔月第二日曜日を救急受入れ医療機関として追加され輪番医療に協力しました。令和4年度の救急車受入台数は3,912台でした。
また、ヘリポートの利用は95件ありました。
- ・ 星ヶ丘病院は精神科救急医療システム事業に参加して救急医療に協力しました。
- ・ 三春病院は、田村医師会の休日在宅当番診療に輪番制指定機関として協力しました。
また、三春町の新型コロナワクチン集団接種後の副反応に対する救急受入体制を整備し対応しました。
- ・ たむら市民病院は、田村医師会の休日在宅当番診療に輪番制指定機関として協力しました。

星総合病院

救急指定日の状況

	救急指定日	来院患者数	入院患者数	救急車搬入者数
3年度	118日	6,228人	1,237人	1,870人
4年度	124日	6,451人	1,295人	1,862人
増減	6日	223人	58人	△8人

救急指定日以外の状況

	救急指定日以外	来院患者数	入院患者数	救急車搬入者数
3年度	247日	5,912人	1,010人	2,015人
4年度	241日	4,955人	1,083人	2,050人
増減	△6日	△957人	73人	35人

星ヶ丘病院

救急指定日の状況

	救急指定日	来院患者数	入院患者数	救急車搬入者数
3年度	82日	72人	21人	7人
4年度	83日	62人	19人	15人
増減	1日	△10人	△2人	8人

救急指定日以外の状況

	救急指定日以外	来院患者数	入院患者数	救急車搬入者数
3年度	283日	160人	36人	11人
4年度	282日	133人	22人	19人
増減	△1日	△27人	△14人	8人

町立三春病院

救急指定日の状況

	救急指定日	来院患者数	入院患者数	救急車搬入者数
3年度	2日	66人	0人	0人
4年度	2日	87人	1人	2人
増減	0日	11人	1人	2人

救急指定日以外の状況

	救急指定日以外	来院患者数	入院患者数	救急車搬入者数
3年度	363日	610人	378人	131人
4年度	363日	618人	337人	164人
増減	0日	8人	△1人	33人

救急指定日の状況

	救急指定日	来院患者数	入院患者数	救急車搬入者数
3年度	2日	79人	1人	1人
4年度	2日	104人	0人	0人
増減	0日	25人	△1人	△1人

救急指定日以外の状況

	救急指定日以外	来院患者数	入院患者数	救急車搬入者数
3年度	363日	51人	11人	73人
4年度	363日	80人	2人	93人
増減	0日	29人	△9人	20人

◆保健事業

- ・ オプション検査については全ての健診者へ事前に案内を送付し、予防健診の周知を図りました。

	3年度	4年度	前年比
検診・成人病(星総合病院)	10,097人	10,221人	101.2%
検診・成人病(三春病院)	1,832人	2,447人	133.6%
検診・成人病(ほし横塚クリニック)	4,091人	4,001人	97.8%
人間ドック	876人	882人	100.6%
予防接種等(星総合病院)	2,218人	2,587人	116.6%
予防接種等(三春病院)	7,998人	6,091人	76.2%
予防接種等(たむら市民病院)	601人	590人	98.1%
予防接種等(ほし横塚クリニック)	4,956人	2,606人	52.6%
計	32,669人	29,425人	90.1%

予防接種については、健診部で関わっている職員・職員家族・産業医・学校医関連での件数である。

(星総合病院の場合内科及び小児科外来で健診室実施分の件数は含まない。)

(三春病院の場合 田村市・三春町の高齢者を含む)

	3年度	4年度	前年比
どこでも健康教室	2,998人	3,754人	125.2%

◆介護保険・相談事業

- ・ 星総合病院在宅介護支援センターは職員の2名退職があり件数が減少していますが、令和5年度は3名増員し稼働件数増加を見込んでいます。
- ・ 新型コロナウイルス蔓延の中であっても、どの事業所も陽性患者や濃厚接触者の対応を行い、大きく減少することなく必要な支援を提供しました。
- ・ 令和4年10月に田村市ふねひき地域包括支援センターおよび星訪問看護ステーションたむらを開所しました。地域のニーズを拾い、徐々に対応件数を伸ばしています。

施設	年 別	ケ ア プ ラ ン 作 成		
		3 年 度	4 年 度	前 年 比
星総合病院在宅介護支援センター		928 人	808 人	87.1 %
居宅介護支援事業所星ヶ丘		613 人	639 人	104.2 %
芳賀・小原田高齢者あんしんセンター		2,481 人	2,252 人	90.8 %
田村市ふねひき地域包括支援センター		—	353 人	—
合 計		4,022 人	4,052 人	100.7 %

◆診療費割引事業

- ・ 社会事業の一環として定款の規定に基づき、診療費の割引を実施しました。

(総額 24,378千円)

◆育英事業

- ・ 育英事業規定に 基づき、ポラリス保健看護学院学生70名、医療専門学校5名の合計75名に対して奨学金を貸与しました。

(総額 43,800千円)

◆保健師・看護師養成事業

ポラリス保健看護学院学生数

(令和5年3月31日現在)

	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	計
学 生 数	31 人	37 人	37 人	33 人	138 人

◆常勤職員動態

(単位:人)

年月	施設	星総合病院	星ヶ丘病院	オリオン	ほし横塚クリニック	星訪問看護	包括支援センター	三春病院	たむら市民病院	星訪問看護 たむら	敬老園	ポラリス保健看護学院
4年3月		850	161	72	17	19	9	108	63	—	26	18
5年3月		858	167	68	17	19	9	114	59	4	28	19
増 減		8	6	△4	0	0	0	6	△4	4	2	1

年月	施設	ほしのこ保育園	星ヶ丘保育園	三春町第1保育所	三春町第2保育所	星の森保育園	大町キッズベース	児童家庭支援センター	ほしくまわねびキッズベース	ほしくまあんしんベース船引	計
4年3月		30	15	24	24	23	12	3	—	—	1,474
5年3月		27	14	24	23	25	12	3	4	6	1,500
増 減		△3	△1	0	△1	2	0	0	4	6	26

◆教育研修研究事業

- ・ 星総合病院では、臨床研修病院(基幹型)プログラムを実施中であり、3月に令和3年度入職の臨床研修医8名が規定の研修プログラムを修了し、4月に新たに8名の臨床研修医が加わりました。
- ・ 星総合病院では総合南東北病院の臨床研修協力型病院として、研修医5名(産婦人科研修)を受け入れました。
- ・ ほし横塚クリニックでは地域医療研修として、福島県立医科大学病院の研修医3名、東邦大学の研修医4名を受け入れました。
- ・ 福島県立医科大学 臨床研究教育推進部が講師の臨床研究セミナーに、延べ445名が参加しました。
- ・ CPC(臨床病理検討会)を3回開催し、延べ141名が参加しました。臨床研修医や指導医をはじめ、医療スタッフとの活発な意見交換が行われました。
- ・ 地域の連携医や法人職員対象の集談会を開催しました。一般演題ではコメディカルから4題、臨床研修医から2題の発表がありました。特別講演では福島県立医科大学麻酔科学講座の井上聡己主任教授を招き、「麻酔入門」を演題にご講演いただきました。感染予防対策として、メグレスホールとオンラインのハイブリッド形式での開催としましたが、計345名の参加者が聴講しました。
- ・ 厚生労働省認定の看護師特定行為研修に看護師17名(うち2名は複数区分)が受講しました。近年の新型コロナウイルス感染症の拡大による感染管理の必要性から、「感染に係る薬剤投与関連」を区分追加し、計5区分となりました。創傷管理関連6名、ろう孔管理関連2名、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連3名、精神及び神経症状に係る薬剤投与関連4名、感染に係る薬剤投与関連4名が修了しました。令和4年度で看護師特定行為研修の修了生は延べ89名になりました。
- ・ 自己啓発助成制度にて227名の職員が資質・能力の向上を図る機会を得ました。INARS プロバイダーコース 19名、介護支援専門員7名、また、3学会合同呼吸療法認定士、保育士、糖尿病療養指導士、いたみマネージャーなど、専門的な資格取得の支援をしました。
- ・ 県内外の医療系大学及び専門学校から実習生を受け入れ、延べ153校837名の実習生へ指導・教育を行いました。
- ・ 星総合病院では、多職種の実習生による共同学習の機会として、「チーム医療の推進」をテーマに多職種連携教育研修を3回開催し、14校8学科延べ60名の学生が参加しました。
- ・ 地域の医療従事者との相互理解及び医療福祉の知識・スキルアップ向上を目的に、「どこでもメディカルセミナー」を行いました。職員による講演が延べ28回行われ、626名が受講しました。
- ・ 地域医療介護福祉関係者と法人職員の連携づくりを目的とした「懸け橋メイトミーティング」を3回開催し106名が参加しました。
- ・ 質の高い医療・介護サービスの提供を目的に介護職員初任者研修を開講し9名が受講修了しました。

◆福利厚生事業

- ・ ストレスチェック制度に基づき、健康管理センターが主となり、6月に全法人職員を対象にストレスチェックを実施し、対象者1,588名中1,253名が提出(提出率78.9%)しました。その結果に応じて産業医・保健師・心理士等が個別に対応を実施しています。
- ・ 全職員のメンタルヘルスサポートとして、メンタルヘルスセンターの臨床心理士と保健師による職員の心の健康管理を実施しました。1年間で延べ89件の相談を受けました。

◆こども事業

(1) 保育事業

ほしのご保育園・星ヶ丘保育園・三春町第1保育所・三春町第2保育所・星の森保育園 園児数

(令和5年3月31日現在)

	0才	1才	2才	3才	4才	5才	計
ほしのご保育園	22(4)人	35(9)人	17(8)人	12(0)人	4(0)人	6(0)人	96(21)人
星ヶ丘保育園	5(3)人	12(6)人	9(4)人	8(1)人	2(0)人	6(0)人	42(14)人
三春町第1保育所	0人	20人	24人	23人	25人	24人	116人
三春町第2保育所	15人	20人	22人	21人	17人	19人	114人
星の森保育園	11人	24人	24人	26人	25人	20人	130人

ほしのご保育園・星ヶ丘保育園の()は地域枠の園児数の再掲

ほしのご保育園・星の森保育園の病児・病後児保育の利用者延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ほしのご	4	1	2	0	7	9	19	9	2	6	6	7	72
星の森病児	0	0	0	1	0	1	0	2	2	1	1	2	10
星の森病後	0	0	1	0	1	0	0	3	0	0	0	0	5

- ・ 令和4年4月に船引町に田村市から引き継いだ、当法人直営の星の森保育園が開園した。
- ・ ほしのご保育園では、3・4・5歳児が眼科の協力を得て、視力検査などを行った。
- ・ 園外行事の際にバスに園児が置き去りにならないよう、安全マニュアルの見直しを行い、確認の徹底を図った。
- ・ 星の森保育園では、視力障害のあるこどもを受け入れた。また、配慮が必要な家庭対応として、田村市・ほしくま児童家庭支援センター、内科嘱託医等の関係者が集まり緊急時の対策を協議した。
- ・ 星総合病院の言語聴覚士が各園を巡回し、発達障害児などの対応について指導している。

(2) 大町キッズベース

- ・ どの事業も地域のニーズに応えるため、感染症対策をマニュアル通り行い、感染者なく運営することができた。
- ・ 乳幼児の一時預かり事業は12,141名が利用した。昨年より255名増加した。
- ・ 小学校6年生までを対象とした、児童クラブは市内の20の小学校より延べ2,313名が利用した。
- ・ 不登校の児童・生徒の居場所づくりを目指し開所している「フリースクールほしくま」は、当施設の特徴である様々な体験や地域との交流プログラムを組み込み実施し、小学校6校、中学校10校より延べ1836名が利用し、前年度より440名増加した。また、当施設に通っていた中学生が県立高校に進学した。
- ・ 子ども食堂はコロナ禍で、テイクアウトでの提供となったが、毎回平均107食、延べ7276食を提供できた。
- ・ 大町マルシェ、いけばな教室などの多世代交流イベントでは、地域の方々延べ1769名の参加があった。

(3) ほしくま児童家庭支援センター

- ・ 令和元年9月に開所し4年経過しました。年々相談件数が増加し、更に玉川村や田村市などからの相談者も増加し、活動範囲が拡大している。

月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	33	15	9	10	10	15	20	6	6	6	5	4	140
継続相談人数	-	33	34	38	45	55	45	45	54	41	28	41	491
月別相談実人数	33	48	44	48	55	70	65	51	60	47	33	45	631

(4)子どもに関する支援

- ・ 児童精神科の本間先生が、「発達障害のお子さんを持つ親の塾」を5月から10月まで6回にわたりZoomで行い、14名が登録し講義を受けた。更に1月には「ゲーム依存」についての特別講義を追加した。
- ・ 子ども食堂の運営に関しては、郡山開成ライオンズクラブ、イズムフーズ、ヨークベニマル、郡山水産などの団体や企業様から、毎月新鮮な野菜など食材の提供を頂き有効に利用させて頂いた。
- ・ 一般社団法人「こども宅食応援団」から生活用品やクリスマスケーキなどの提供があり、児童家庭支援センターを通じて、当センターに相談している地域の家庭に配布した。
- ・ 法人職員の親子が楽しめる「子育て応援プログラム」イベントを18回企画して、5月、7月、8月はコロナまん延防止のため中止となりましたが延べ262名が参加した。

◆ 医科器械等の整備

	医療器械名	数量	施設	整備時期
新規	術手術室排煙装置	1 本	星総合病院	4 月
新規	術中リニア探触子	1 台	星総合病院	5 月
新規	起立運動歩行器具 SPR3000D	1 台	星総合病院	5 月
更新	電動骨手術ユニット プリマド2	1 式	星総合病院	5 月
新規	ダビンチ用プローブ	1 式	星総合病院	5 月
新規	カテ室汎用超音波画像診断装置	1 式	星総合病院	5 月
更新	ライブシステム タッチパネル更新	1 式	星総合病院	6 月
新規	汎用超音波画像診断装置 vivid S70N	1 式	星総合病院	6 月
新規	カテ室 SIP-3000 専用ポンプ	1 台	星総合病院	6 月
更新	新生児用開放型保育器	1 台	星総合病院	7 月
更新	超音波血流計	1 式	星総合病院	7 月
新規	下肢静脈瘤高周波装置	1 式	星総合病院	8 月
新規	耳鼻咽喉科 flagon ナビゲーションシステム	1 式	星総合病院	8 月
新規	自動遺伝子解析装置GeneX	1 台	たむら市民病院	8 月
更新	FFP バッグ解凍器 FP-4000 G2	1 台	星総合病院	9 月
新規	汎用超音波画像診断装置 Voluson SWIFT	1 式	星総合病院	9 月
新規	超音波診断装置 Aplio a Verifia	1 式	星総合病院	9 月
新規	超音波診断装置 Aplio flex	1 式	星総合病院	9 月
新規	全自動遺伝子分析装置	1 式	星総合病院	9 月
新規	空気清浄機 HY-2000	2 式	星総合病院	9 月
更新	電解質分析装置	1 台	星総合病院	9 月
新規	Cepheid全自動遺伝子分析装	1 式	星ヶ丘病院	9 月
更新	SONOPET IQ コンソール	1 式	星総合病院	1 月
更新	Console Advance Mobile	2 式	星総合病院	1 月
更新	6F ウレテロレノスコープセット	1 式	星総合病院	1 月
更新	NVDQ セット:VPI+SPY-PHI	1 式	星総合病院	1 月
新規	ベッドサイドモニタ	1 式	星総合病院	2 月
新規	人工腎臓装置及びJWS社製個人用RO装置	1 式	星総合病院	2 月
新規	ユフHDTV モニターシステムⅢ	1 式	星総合病院	3 月
新規	超音波画像診断装置 Aplio i700	1 式	星総合病院	3 月
新規	汎用超音波画像診断装置 Voluson SWIFT	1 式	星総合病院	3 月
新規	IMPERA 制御装置(カテーテル)	1 式	星総合病院	3 月